

2022年3月期 第2四半期 決算説明会 質疑応答概要  
(2021年11月2日開催)

Q1. 先日株価が1,000円を割るなど企業価値に対して株価が割安に感じます。何か対策を検討していますでしょうか？

A. (回答者：柿崎)

来年の4月から東証の市場再編などもあり、ジャスダック市場からスタンダード市場へ移行する予定の我々の見られ方も変わってくると認識しています。

株主・投資家の皆さまにより魅力的な企業だと思っていただけるよう、堅実に収益を上げていくことに留まらず、魅力あるソフトウェア企業に向けた新しいビジネス創出への投資も積極的にチャレンジし、企業価値の向上を目指したいと考えています。

Q2. アマノ社の業績が好調なようですがクレオに影響はあるのでしょうか。また、アマノ社との連携は進んでいるのでしょうか？

A. (回答者：柿崎)

アマノ社の勤怠管理サービスと弊社の人事給与システムはシームレスに動くよう連携を取っており、互いの商品を合わせた販売についても引き合いが強い状況が続いています。

両サービスのサポートを一本化していくなど、今後もお客様に更なる価値を提供できるような活動を進めていく予定です。

Q3. 来年が最終年度の中期経営計画ですが目標指標に届く認識でしょうか。また、どういった施策で最終年度の目標達成をする計画なのでしょうか？

A. (回答者：柿崎)

中計の指標として2023年3月期に営業利益率10%、売上高180億円、営業利益18億円を目指しており、その中で「営業利益率10%」を最重要指標としています。

現在は利益率向上へ向けた効率化を重点的に行っており、トップラインの引き上げが課題となっている認識です。

成長事業であるソリューションサービス事業の受注環境、お客様からの引き合いは強く、重要課題である「受注体制強化」「生産力向上」に努め、引き続き指標達成に挑戦してまいります。

以上。